

自然公園のあり方懇談会での議論について

項 目	議論のポイント	懇談会での配布資料例
<p>1. 保護及び保全方策に関するもの</p> <p>(1) 国土における自然公園の役割の明確化</p> <p>(2) 地域指定（ゾーニング）のあり方</p> <p>(3) 保護管理手法及び実施体制</p>	<p>日本の各種保護地域制度の中における自然公園の位置づけを確認する。生物多様性の保全や環境教育など自然公園の役割の拡大について整理する。自然や社会的条件の多様性に鑑み、すべての国立・国定公園の役割を一律に考えるのではなく、タイプ区分する等の新たな考え方の導入を検討する。</p> <p>公園計画作成要領の改正を念頭に、重視される役割に応じた公園地域の指定のあり方について検討する。</p> <p>同一公園区域内における管理区分（管理計画区の設定）について検討する。要許可行為の見直し、許可基準の柔軟な扱い、利用計画策定方針の作成等保護管理の為の規定等の見直しについて検討する。保護管理の為の人材育成（レンジャーの資質向上、地方自治体やボランティア等との連携等）推進方策の検討。公園毎の管理用データベース（経済社会指標、自然指標）の作成の検討。</p>	<p>経済社会状況の趨勢 保護地域制度概念図 諸外国の国立公園の役割比較表 米国の国立公園制度 国民の国立公園像（アンケート結果一式） これまでの国立・国定公園指定の経緯、考え方 利用から見た各国立公園の特徴分析 自然資源等各種データから見た各国立公園の特徴分析 これまでの公園区分案 知床、伊勢志摩、阿蘇くじゅう国立公園の分析</p> <p>鳥獣保護区の説明 国立公園と鳥獣保護区の関係 流域管理の概念</p> <p>管理計画の区分例 基準の区分例 利用計画の区分例 レンジャーの研修実態 自然保護に係る研修、資格の一覧 伊勢志摩、阿蘇くじゅう国立公園のデータベース及び100人委員会案</p>
<p>2. 自然公園利用の質的向上に関するもの</p> <p>(1) 自然公園における環境教育・環境学習の推進のあり方</p> <p>(2) エコツアーの推進など新たな利用形態への対応のあり方</p>	<p>国立公園を環境教育・学習の場として活用する際の、対象者、場の創出、体系的プログラム、情報提供等を総合的に検討する。</p> <p>エコツアー推進のためのガイドライン制度の推進、民間事業支援等の具体策を検討する。自然とのふれあいとしてふさわしい新たな利用の適正な推進方策を検討する。</p>	<p>これまでのインタープリテーション施策の概要(加工) 体系的環境教育の事例（OBIS、PW等）(加工) 自然学校の概要</p> <p>エコツアーの現状 新たな利用の現状と展望（クライミング、山スキー、マウンテンバイク、カヌー、スカイスポーツ）</p>
<p>3. 自然公園の整備に関するもの</p> <p>(1) 自然再生事業のあり方</p> <p>(2) 自然と調和した自然公園内の施設のデザイン、工法のあり方</p> <p>(3) 自然公園の施設整備（公共事業）の基本的方向性</p>	<p>自然公園における自然再生事業の実施方針等について報告する。</p> <p>地域毎に建築物等のデザインポリシーを定め、公園法手続の簡略化、施設整備の支援、アドバ付制度の創設等推進方策を検討する。自然公園施設の工法の技術的課題を整理するとともに、技術の開発、普及策を検討する。公園内の標識類の統一について検討する。</p> <p>自然公園の施設整備（公共事業）において今後重視すべき観点、施設の種類、内容を整理し、望ましい整備計画手法を検討する。</p>	<p>自然再生事業の概要 釧路湿原再生事業計画</p> <p>標識指針の概要 標識整備事業計画案の概要（上高地） 層雲峡プラン概要 層雲峡景観協定 自然公園等事業技術指針の概要</p> <p>那須アンケート結果（施設種毎の価値） 現在の公園計画から事業執行までの手続</p>
<p>4. 自然公園管理・運営の基盤となる科学的知見の集積、提供に関するもの</p> <p>(1) 科学的データの収集、分析、提供のあり方</p> <p>(2) 自然環境保全に関する研究の推進のあり方</p>	<p>モニタリング1000によるデータの収集、整理、分析等を踏まえ、公園別自然環境データベースの作成、管理について検討する。</p> <p>研究テーマや研究機関との連携体制の構築について検討する。</p>	<p>モニタリング1000 予算要求概要</p> <p>自然環境関係研究機関一覧</p>
<p>5. 自然公園の管理・運営を支えるための制度に関するもの</p> <p>(1) 税制、助成措置、受益者負担等のあり方</p>	<p>公園事業者やNPOの活動を拡充するための税制措置、助成措置について検討する。国立公園の一部区域において自然環境の保全及び施設管理に係る経費について受益者及び原因者負担制度を導入することについて検討する。</p>	<p>環境保全活動活性化専門委員会における議論の概要 国立公園に係る税制措置の一覧 国立公園に係る助成措置の一覧 国立公園における料金聴取の実態</p>
<p>6. 自然公園の管理・運営と各主体の参加に関するもの</p> <p>(1) 国、地方自治体など公園の管理・運営主体の適正な役割分担と連携のあり方</p> <p>(2) 研究者、NGO、公園事業者、地元住民、利用者等の参画、連携のあり方</p>	<p>国が重点的に実施する役割と地方自治体の役割の明確化、特に法定外目的税による地方自治体による公園管理の役割分担の妥当性等について検討する。</p> <p>各者との具体的な連携方策の検討 国立公園行政への各者の参画の具体方策の検討</p>	<p>公園管理活動、事業等の整理 地方自治体における自然環境保全に係る法定外目的税の検討状況</p> <p>各者との具体的な連携策案一覧 コーディネーター制度案概要 パブリックコメント等住民参加型合意形成方策案</p>